

ひきよせ

謹賀新年



昨年は誠にありがとうございました。
本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

立教百八十五年 元旦

天理教夕張大教会 会長 藤田大和

前会長 藤田文雄

夫人 美由紀

役員一同

美重子

発行所
天理教夕張大教会
〒068-0029
北海道岩見沢市9条西6丁目
☎ 0126-22-1248
FAX 0126-23-7275
yubaridai146@gmail.com

ホームページ
bariten.main.jp



LINE 友達登録
お願いします

新年のごあいさつ

昨年は新会長の就任奉告祭を無事に勤めさせて頂き、教会長様方、奥様方、信者様方には困難な状況の中にも真実のお心を賜り有難うございました。お陰様で家族一同元気に新年を迎えさせて頂き、今年も精一杯、自分のできる神様の御用を勤めたいと存じます。私達の暮らしや教会の活動は、まだこの先も不安で苦しい状況が続くかもしれませんが、その中に親神様、おやさまに感謝できる事を探し、喜びを見つけて、地道に陽気ぐらしの種まきをさせて頂きたいと存じます。今年一年の皆様方のご健康と、幸せを願っています。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

立教一八五年 元旦

会長 藤田大和

夫人 美由紀

前会長 藤田文雄

夫人 美重子

お知らせ

春季大祭 1月15日(土) 9時30分 開扉献饌
大祭後、進級進学のお願ひづとめ
青年会・女子青年合同総会(オンライン)
2月19日(土) 13時30分



布教部

部長 高橋 太志

ふふさんぽ #1

●パソコンやスマホのユーザー画面で ふふさんぽと検索するとおぢばを散歩するふふさんが現れてビックリすることでしょう。ぜひご覧を！

の理拝戴3名、修養科1名、教人資格講習会3名、教会長資格講習会1名、教会長任命講習会3名、そして正式な数はすべて把握しておりませんが、おぢばにお帰りください、別席を運び、あるいは基礎講座を受講されました。

現在、別席をはじめ、修養科各種講習会は新型コロナウイルス感染症に十分配慮し予防しながら開催しております。また、詰所でも感染対策をしながら対応しておりますので、おぢばがえりに際して不安な点、気になる点がありましたら是非ご連絡頂きたいと思ひます。

特におさづけの理拝戴に際しては、大教会長様とご相談しながらの対応になります。夕張に繋がる皆様の中にはすでに満席を運び終えている方、次のおぢばがえりで満席になるという方がいらつしやるかと思ひますが、おさづけの理拝戴希望の方は是非ご連絡ください。

併せて三日講習会も感染対策をしながら開催しております。三日講習会のホームページで

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で夕張大教会に繋がる皆様もおぢばがえりを遠慮したという一年だったと思ひます。会長就任奉告祭の御礼参拝も緊急事態宣言や感染拡大の観点から団参で済ませました。その中で、昨年の12月20日現在ですが、初席3名、おさづけ

確認いただくか大教会までお知らせください。また、基礎講座の北海道会場は開講に至っておりませんが、今年は開催に向けて準備されております。本部の基礎講座は、4月1日より平日開催での受講は前日の正午までに予約をし受講という方式になりますのでご注意ください。

本年は多くの方がおぢばへお帰りくださり、別席をはじめ修養科、各種講習会に受講くださいますようお願い致します。

婦人会

主任 藤田 美重子

新型コロナウイルス感染が全国的に減り、明るい兆しの中に立教185年の新年を迎えさせていただきます。大変喜ばしく思います。

コロナ禍で婦人会の活動も例会をはじめ、これまで継続してきました様々な行事をすべて致し方なく中止として参りましたが、本年は徐々に戻していければと思っております。

活動としましては、「元をたずね ご恩報じの日々を」との本会のお打ち出しに沿い、親神様の思召しをお互い一人、ひとりのところに少しずつでも治めていけるよう、原典や教祖伝など、回を重ねて拝読し、お

互いに親心を味あわせてもらえるよう話し合いを進め、信仰心の向上を目指していきたいと思えます。

本年も明るく、和やかにお互いの交流を持ち合っていきたいと思います。

青年会

委員長 藤崎 勇

今年もどうぞよろしくお願致します。

昨年中はコロナ感染拡大の中なかなか思うような活動が出来ませんでした。その中にも2月に開催したオンライン総会、また9月の就任奉告祭に向けた準備のきしんには沢山の青年会員にご参加頂き、誠にありがとうございました。

青年会本部では基本方針を「世界たすけへの挑戦」と掲げ、活動目標に「かしの・か」りものの教えを治める、「自分」にできるおたすけに動き出す」と定めて活動を進めています。夕張分会としても青年会長様のお心に沿うべく、教えを深め、会員一人ひとりが活躍できるような行事・活動を展開していこうと計画中です。どうかご期待下さい。

2月には女子青年と合同でオンライン総会を開催致します。

青年会員、女子青年の参加は勿論のこと、今回は会員以外の方もYouTubeで視聴出来るように準備中です。夕張の若い人達の楽しむ姿を見たらうのと同時に、多く視聴する方が集まることで、一生懸命準備をしている人の喜びになり、また青年会全体の勇みにも繋がります。当日はごぞつてご視聴して頂きますようお願い致します。

少年会

団長 藤田 豊

昨年夕張団少年会ではコロナ流行の中、人を寄せずにオンラインを中心とした活動をさせて頂き、一昨年に中止となった少年会総会をオンラインでさせていただきました。ご視聴くださった皆様ありがとうございました。

本年の活動は1月27日の本部年頭会議での活動方針に沿って進めたいと思っております。行事として、状況をみながら、春は夕張団少年会総会、夏のことども会、冬のお楽しみ会を計画いたします。

夏休み期間中の、夏のおぢばがえりについての正式発表はまだまだですが、家族、教会単位での帰参が基本となるかと予想します。帰参者の数は想像できませんが、各教会、ご家族の予定を

伺いながら、詰所の受け入れ、行事参加などのお手伝いが出来るよう準備したいと思えます。子供も大人もなかなか、おぢばへ帰れない日が続きましたので、帰れる可能性を信じて、親子でおぢばがえり計画を立てて頂けたらと思います。

本年もよろしくお願致します。

十一月月次祭の様

11月の月次祭は新穀感謝祭も併せて勤められる為、各教会信者から今年収穫された新米がたくさん御供になり、神床には米袋が高々と積みあげられた

15日の月次祭は定刻通り9時半より開扉献饌、祭儀式のち祭文奏上。それから座りづとめ・十二下りのてをどりが陽気に勤められた。

おつとめ終了後すぐ準備がなされ、秋季霊大祭が大教会長を祭主に執行された。この度は新たに4名の功労者、矢野良一・北夕七代会長、阿部美子・札美初代(三代)会長、梶川ユキ・峰延二代会長夫人、矢野政子・富陽四代会長夫人が合祀され、遺族関係者が揃って参拝した。その後、各教会信者を代表し、美由紀奥様が参拝された。

講話には大教会長が壇上に上



がり、「高校時代に祖母が出直り、その後祖母は雅楽が好きだったという事を知り、孝行のつもりでこつそり雅楽を始めました。時間が経ち、会長に就任して間もなく、御本部の先生から連絡があり『本部の楽人として登用するので毎月勤めるように』と御命を頂き、現在本部月次祭で吹かせて頂いております。御霊様への孝行で始めた雅楽で、おぢばでお使い頂けることをとても有難く思っています。」と述べ、続いて「昨年の七月より3ヶ月間、修養科一期講師を務めさせて頂きました。コロナウイルスの蔓延によつて五、六月は修養科史上初めて募集が中断され、明けて七月、待ちわびた修養科の再会に申し込みが予想を上回り、男女ともにクラスが

増え、先生が足りなくなりまし
た。そこで急遽、本部準員先生
が数名招集され、共に勤めて下
さいました。私が副担任を勤め
た男子クラスには元プロのラグ
ビー選手の男性が居て、毎日熱
心にクラスメイトにおさづけを
取り次いでいました。2ヶ月目
に入った頃、彼はなぜ自分がプ
ロを辞めてまで人だすけの道を
志したのかを感話で話してくれ
ました。天理大学ラグビー部員
だった頃、乗っていたバイクで
車との衝突事故を起こし、生死
をさまよった時、救急車を呼び、
おさづけを取り次いでくれる人
が朦朧とする意識の中で見えた。
さらに、何人もの人が自分を囲
んで添い願いをしてくれた。本
当に不思議なことに、その時激
しかった痛みが抜け、静かに救
急車で運んでもらう事が出来た。
後に全身の骨折と、片肺が破れ
ている事がわかり、内臓が血で
一杯だった。本当に奇跡的に助
かったと。その後、またラグ
ビーができるまで回復した彼は
プロになり、悔いのないラグ
ビー人生を送った後、助けられ
た喜びは止まず、修養科を志願
したのでした。この事を職員室
で隣の机だった先生に話すと、
『それ俺やわ』と言い出しびつ
くり。その本部準員先生は当時

事故に出くわしおさづけを取り
次いだ事をはっきり覚えていま
した。この奇跡的な巡り合わせ
によって名前も分からなかった
恩人に彼は再会でき、心は喜び
で勇み立ち、3ヶ月を駆け抜け
たのでした。その出来事で私も
親神様のお引き寄せに感動しま
したが、それから間もなく、今
度は隣のクラスの修養科生さん
から「10年前に別席場で僕の心
を助けてくれた勤務者の方がい
て、名札に藤田と書いてあった
んです。」と告げられさらに驚
きました。聞けば、大学生だっ
た頃自分は地元の友人を何とか
誘い、一緒に別席を運びに来ま
した。しかしその友人が別席の
お話中に荒れてしまいお話が中
断になったんです。関東からや
つとおぢばにまで誘えた友人が
原因で、同じ部屋にいた沢山の
人に迷惑をかけてしまい、待合
所のベンチで下を向いて泣いて
いた自分の横に座り、何時間も
励ましてくれた人が居て、名札
の名前だけが記憶にあったと。
「今回おさづけを頂いて10年目
の節目に修養科を志願したら先
生を見つけたんです」と。本当
に修養科はすごい所だと思いま
した。是非これからも沢山の方
に修養科へ志願して頂きたいと
思います。」と述べた。

十二月月次祭の様

例年だと岩見沢は既に雪景色
となつていることも多いが、今
年は15日の時点では大雪に見舞
われることもなく、積雪のない
中で12月の月次祭は当日を迎え
た。

9時半より開扉献饌、祭儀式
のち祭文奏上。座りづとめ・十
二下りのてをどりが陽気に勤め
られた。

講話には千葉祐生・大龍文教
会長が立ち「今年を振り返ると、
まず何よりも新しい会長さんの
誕生と共に新たな夕張の道をス
タートした、喜ばしい一年であ
ったかと思えます。私自身も、
6月の任命お運び、9月の就任
奉告祭にひのきしんにあたらせ
て頂き、有難く思います。

私のスケジュール表を見て一
年の動きを振り返ると、1月26
日には本部春季大祭ではなく
『胃カメラを飲む』と書かれて
いました。昨年末より激しい胃
痛が時たま襲うようになり、家
族の勧めもあって、その日に検
査を受けることになったのです。
お陰様で結果は異常なしの事
でしたが、分かるまでの不安は
言い表すのが難しい程ありま
した。

4月27日には『祖母出直し』

と書かれていました。私は教養
掛でおぢばにいた中での訃報で
したが、何故かスツと受け入れ
る事が出来たんです。どうして
そんなりと受け入れる事が出来
たか思索してみると、祖母は親
神様の懐に抱かれている、つま
り私の近くにいるんだ、と思え
たからです。それからおぢば
での生活は気持ちを取り戻して、
元気に過ごすことが出来ました。

10月23日には『福岡に帰省』
とありました。妻の実家に家族
揃って行きましたが、実に9年



振りの事でした。なかなか妻や
子供を連れて帰る事が出来ませ
んでしたが、ようやく行かせて
頂き、喜んで迎えてくれました。
その後おぢばへ帰り、家族揃っ
て秋季大祭を参拝させて頂きま
した。毎年一度は子供を連れて
おぢばへ帰らせて頂いてますが、
子供達の反応に年々変化があり
ます。例えば天理駅に『ようこ
そおかえり』と各所に掲示され
てますが、それを見て不思議が

るので、おぢばは人類のふるさ
とだから、帰ってくる人を歓迎
しているんだよ、という
『へえ』と感動した様子でし
た。親としては、こういう子供
の反応は嬉しいものです。

現在私の子供達は、南幌町の
サッカー少年団に入っています。
コーチが3人いらっしゃるの
ですが、その内の一人の方のお話
を少しさせて頂きます。その方
は保護者会の会長もしている方
で、1・2年の低学年の子を担
当していたのですが、2年生が
なかなか有望で、その為2年生
ばかり指導してしまい、1年生
がほったらかしになってしまっ
た。色々トラブルも重なり、
そのコーチと保護者達の間に溝
が出来てしまった。

私は保護者会の副会長として、
私の元に何人も保護者の方が
不満を言いに来ました。それぞ
れ我が子の事を思って言いに来
るので必死です。後日、今度は
コーチの方から呼び出され、い
ろいろと話を聞きました。退任
も口にされていましたが、何と
か宥める中に少しずつ落ち着き
を取り戻したようでした。話の
中で『千葉さんは何のお仕事を
されているんですか』と聞かれ、
『天理教の会長です』という
驚いた表情をされました。

